

鋳物大手の虹技（本社・兵庫県姫路市、社長・山本幹雄氏）は、姫路城世界遺産登録30周年を記念し、マンホールの鉄蓋を姫路市に寄贈した。これを受け27日に姫路市役所で和田達也姫路市副市長から山本社長に感謝状が手渡された。

## 虹 姫路市にマンホール鉄蓋を寄贈 技 姫路城世界遺産登録30周年記念

ントを設置してきた。提案。同局の承諾を得、今回も姫路城の世界遺産登録30周年をアピー、寄贈したマンホール鉄蓋は、同社の営業部門と姫路市上下水道局の担当者が協議し決定。30周年記念のロゴマークのデザインを可能な限り再現できるよう工夫し、滑り止め効果のデザインも加えた。今回寄贈したマンホールの鉄蓋は、同社社長は「姫路城は、1993年に法隆寺と共に日本で初めて世界遺産に登録された。30年経った。この機会に虹技の物づくりの野である記念マンホール鉄蓋を作らせてもらうことは、非常に光栄なことであり、また喜ばしいことだ。これからは、時期は未定だが、姫路として」。



山本社長（左）と記念のマンホール鉄蓋を持つ和田姫路市副市長

定。30周年記念のロゴマークのデザインを可能な限り再現できるよう工夫し、滑り止め効果のデザインも加えた。今回寄贈したマンホールの鉄蓋は、同社社長は「姫路城は、1993年に法隆寺と共に日本で初めて世界遺産に登録された。30年経った。この機会に虹技の物づくりの野である記念マンホール鉄蓋を作らせてもらうことは、非常に光栄なことであり、また喜ばしいことだ。これからは、時期は未定だが、姫路として」。

